

日時：令和5年5月25日（木）15:00～17:00
場所：大阪府立東住吉総合高等学校TRYルーム

1. 開会

2. 学校長挨拶

3. 出席委員紹介：

大阪芸術大学短期大学部教授 福井 康雄 委員
大阪市立摂陽中学校長 柿花 正信 委員、
喜連西地域活動協議会会長 東 春年 委員
東住吉総合高等学校陽親会会長 宮崎 日和 委員
東住吉総合高等学校PTA会長 坂井 円 委員 計5名

※(株)富士精機代表取締役 田村 孝 委員は不在のため氏名のみの紹介となった。

4. 会長副会長選出

田村委員が会長、福井委員が副会長を昨年度より引き続き本年度も担当される説明があり、賛成多数で承認された。

5. 協議

(1) 保護者からの意見書提出状況について

5月24日時点、意見書の提出はなし

(2) 実施要項について

実施要綱について事務局より内容の確認が行われ配布資料の通り、賛成多数で承認された。

(3) 「令和5年度学校経営計画」について

昨年度の第3回学校運営協議会において承認を得た内容を引継ぎ実施していく

(4) スクールミッションについて

スクールミッションを参考に今後3つのポリシー（グラデーションポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）を第2回の学校運営協議会ではお示しできるように作成していく。

(5) 学校の現状について

・教務部より

令和4年度より、3観点の評価方法が導入された。例年に比べ再履修生徒が増加したが、の再履修の増加が3観点の評価方法が原因なのか、一時的なものなのかどうか、今年度以降どのように影響するのかが問題点である。来年度の使用教科書と教育課程については、今後、検討を開始する予定である。

・生徒指導部より

昨年度遅刻生徒が140%増、欠席生徒が200%増加し、原因がコロナ関連であるかどうか不明な状況

である。時限を跨いだ大幅な遅刻が増加傾向にあるため、時間ごとの統計など詳しい原因を調べる必要を感じている。遅刻指導のありかたの変更を検討中である。

令和5年度は、昨年度に続き、特別指導について、すでに数件出ている。特別指導の 案件は未然に防ぐことが重要である。

・生徒会より

部活動の加入率について、1年生は50%を超えている。卒業までにどのくらいの生徒が残るかが今後の課題である。今年度より学校行事をコロナ前の扱い（保護者の参観等）に戻す予定である。

・総務部より

入学式に関してはコロナ前に戻せる状況になっている。来校者数などがかなり変わってきた。入学者240名に対して、来校者数は300名近くとなった。

地域連携としてのボランティア活動を計画している。今年度は生徒ボランティアの参加者50名をめざす。物販について、値上がりの影響を明らかに受けている。

・進路指導部より

昨年度の就職1次内定率が88%、4大・短大の合格率に関しても上昇傾向にある。

目標は、生徒一人ひとりに合った進路実現をめざす。

生徒と企業、生徒と進学先学校のミスマッチを無くすこと。そのため、1年次から進路について考える機会を設けている。インターンシップ、企業や大学見学も復活してきている。

・保健部より

生徒対象と教員向けの救命講習を今年度も実施予定である。防災訓練は年2回実施予定である

精神的な問題で保健室に来室する生徒が増加しているため、今年度はSSWにも関わってもらう予定である。

・3年次より

入学時から活動制限や自粛のため、コロナ明けの学校行事を楽しみにしている生徒が多い。リーダーシップの取り方などを教員が引導することで実現させたい。

・2年次より

この学年より観点別評価が実施され、生徒も自分自身と向き合う必要が出てきている。進路についても生徒と相談しながら進めていく。部活動加入率も高く、生き活きとしている生徒が多い。行事なども含めて楽しむことは楽しみつ、やるべきことはしっかりやる学年にしていきたい。

・1年次より

コロナの影響もあり、外に出る生徒が減った為か、遠足で電車間違い等の生徒が多かったが、生徒は大いに楽しんでた。現時点で懲戒件数が多く生徒との向き合い方が課題である

7. その他

次回の協議会開催について

第2回：10月下旬 14時00分～ 開催予定、 第3回： 2月中旬 14時00分～

8. 学校長より